

経営比較分析表

岐阜県 羽島市

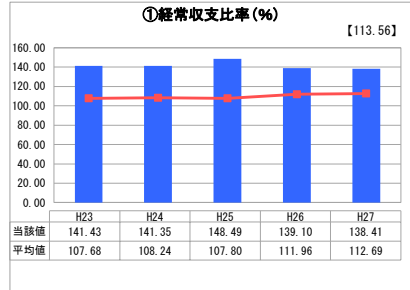
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	91.57	89.55	1,620

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,620	53.66	1,278.79
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
61,244	42.50	1,441.04

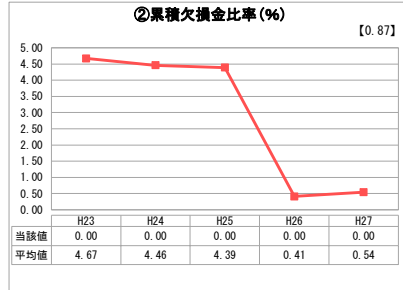
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

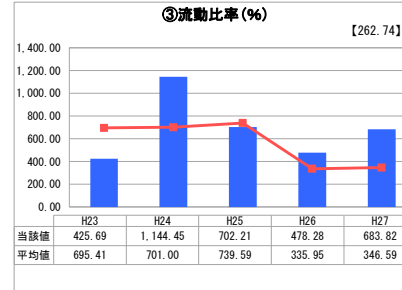
1. 経営の健全性・効率性



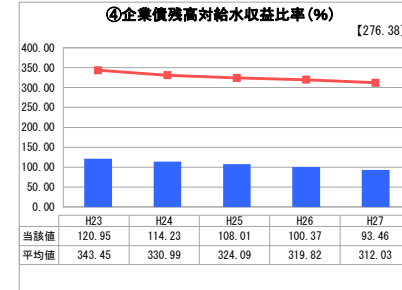
「経常損益」



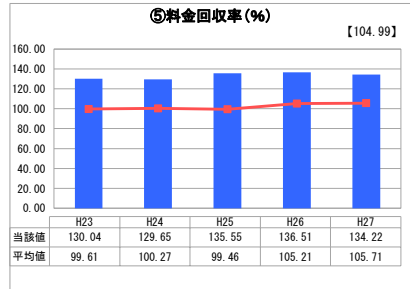
「累積欠損」



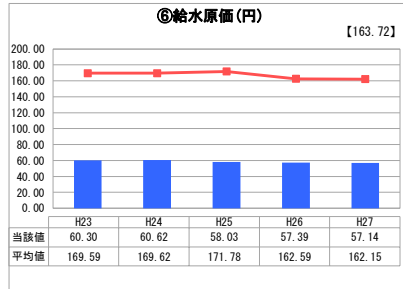
「支払能力」



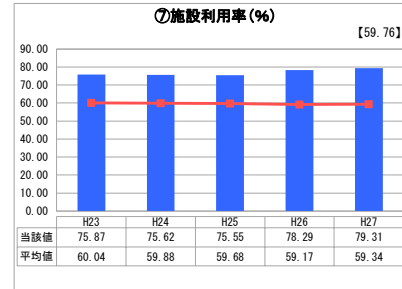
「債務残高」



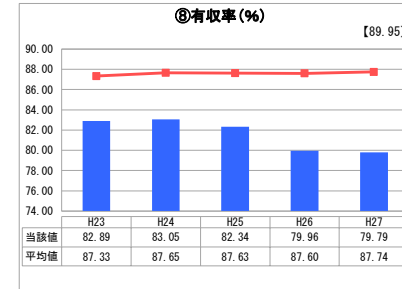
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

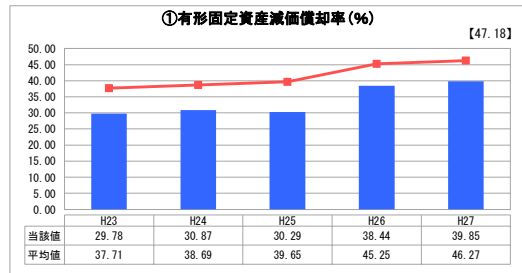


「施設の効率性」

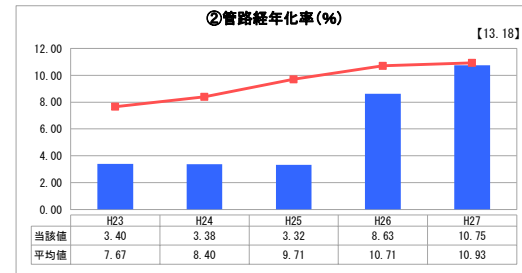


「供給した配水量の効率性」

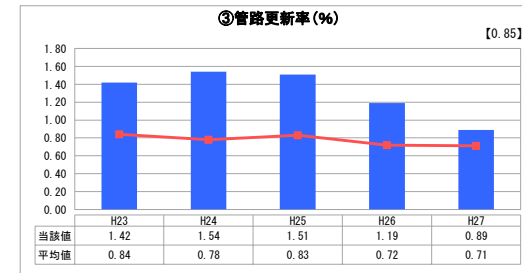
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

羽島市における⑥給水原価は水資源に恵まれていることから、給水に係る費用が少なく抑えられ、⑤料金回収率は100%を上回っており、給水に必要な費用を料金収入で賄うことができています。そのため①経常収支比率は良好な状況にあります。これは、⑦施設利用率の高さなど効率的な経営を行っていることも一因と考えられます。⑧有収率が低い点は平成27年度から漏水調査等を行い修繕するとともに、老朽管の更新を進め、抜本的な漏水対策に努めているところです。

②累積欠損比率は0%で、損失のない健全経営が行われています。③流動比率は、収益性の高い事業経営が維持されていることにより、流動資産が確保されており、④企業債残高対給水収益比率は平成19年度以降企業債の借入れを行わず、事業経営を行い企業債残高が減少しているため、比較的健全な財政状況にあるといえます。近年の老朽化した施設・管路の更新費用の増加から現金等の資産が今後減少していくと予想されますので、更なる事業経営の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

羽島市における①有形固定資産減価償却率、②管路経年化率はいずれも平成26年から急激に伸びており、高度経済成長期に整備された多くの配水管が法定耐用年数の40年を超えたことがわかります。

③管路更新率は平成28年度までの水道整備計画において、管路の耐震化や老朽管の更新事業を実施してきましたが、①②の比率の伸びを勘案すると、今後一層の施設・管路の更新工事が必要であり、老朽化による事故や故障の防止のための点検や修繕など適切な維持管理によって延命化を図りながら、効率的かつ計画的な施設・管路の更新を実施していくと考えています。

全体総括

羽島市の経営状況は、経営の健全性・効率性の観点から見ると、良好な状態にあると考えます。しかし、今後の水需要の低下による料金収入の減少や老朽化した施設・管路の更新・維持管理に必要な費用の増加が見込まれることから、今後については、現状の健全な経営を維持し、老朽化した施設・管路の更新を第2期水道整備計画に基づき順次進めて、更なる事業経営の向上に努めていきます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。